

「普通科・探究科」学校説明会 2016

全体会資料

平成 28(2016) 年 7 月 23 日(土)
京都市立堀川高等学校 講堂(本館5階)

- 9:30~10:00 北区・上京区・中京区・下京区・左京区・東山区・右京区の京都市立中学校在学の方とその保護者
- 10:35~11:05 南区・山科区・西京区・伏見区の京都市中学校および乙訓地域の公立中学校在学の方とその保護者
- 11:40~12:10 京都市内・乙訓地域以外の府内公立中学校および国立・私立中学校在学の方とその保護者

堀川高校へようこそ。全体会は下記のとおり進行いたします。

- ・ 学校長あいさつ
- ・ 平成29年度選抜概要
- ・ 生徒による学校生活の紹介 (本校1・2年生)

本日の配付資料

1. 説明会資料 (この資料です)
2. 学校案内パンフレット2017
3. 探究基礎紹介資料
 - ・ 探究魂
 - ・ 探究の海図 2015. 3. 31 (探究魂特別号)
 - ・ 「17期生 探究基礎研究発表会」開催のお知らせ
4. 冊子「探究学科群学力検査問題・小論文 平成28年度選抜」
5. 選抜に関する資料
 - ・ 平成29年度選抜概要および学習アドバイス (スライド) 資料
6. 「学校説明会フロアガイド」 (全体会以外の内容についてご案内する資料です)

* その他、アンケート用紙、堀川うちわが同封されています。

* 資料4はご家族に1冊ずつ配付させていただきます。

- ◆ 11月12日(土)には「探究科進学説明会 (中3対象)」、 「学校説明会 (中2以下対象)」を開催いたします。詳細については中学校を通じてご案内しておりますので、是非ご参加ください。
- ◆ お手数ですが、同封のアンケート用紙をご記入の上、お帰りの際に1階アトリウムにて、生徒スタッフにお渡しください。

文部科学省 スーパーサイエンスハイスクール(S S H)研究指定校

文部科学省 スーパーグローバルハイスクール(S G H)研究指定校

立志 勉勵 自主 友愛



京都市立堀川高等学校

Kyoto Municipal Horikawa High School ~ established in 1908

ようこそ THE NEST OF YOUTH へ



堀川高校では、校訓「立志・勉勵・自主・友愛」に基づいて「自立する18歳」の育成を図るための豊かな学校を構築することを最高目標としています。みなさんの大切な高校の3年間で真に充実した時になるよう、心をこめて支援します。日々の学習活動、ホームルーム活動、部活動、各種委員会活動など、生徒相互の交流や教職員との交流を通して自己を磨き、未来について考え、自己実現を図るための堀川高校での3年間。そのなかで将来の目標と展望を明確に示す力を備え、未来を切り拓くたくましい創造力と豊かな人間性を身につけた若者に成長し、人類の幸福と社会の進歩に貢献してほしいと考えています。

1. 平成29年度選抜概要

学科	普通科(人文探究コース・理数探究コース)	探究学科群(人間探究科・自然探究科)
募集定員	80名	160名
通学区域	京都市・乙訓地域	京都府内全域
前期選抜	24名(募集定員の30%) A方式(共通学力検査・報告書・小論文・面接 ・活動実績報告書)	160名(募集定員の100%) A方式(報告書・独自学力検査・小論文)
中期選抜	56名(募集定員の70%) 報告書・共通学力検査	

意欲を持って主体的に学ぼうとする生徒、自らの興味や関心を生かして幅広く学び、問題意識を掘り下げて解決していくこうとする姿勢のある生徒を求めています。

入学者選抜の詳細は、中学校に詳しくお伝えします。中学校の先生と十分にご相談ください。

(1) 普通科 選抜概要

■前期選抜(募集定員 24名)

探究活動を進めるための「基礎的・基本的な知識」とその「活用能力」を確認します。また、自分の考えや意見をまとめて論理的に表現する力を確認します。

「基礎的・基本的な知識」とは国語・数学・英語の学力、
「活用能力」とは知識・技能等を活用して課題を解決するために必要な力を指します。

◇検査内容

学力検査 共通学力検査「国語」「数学」「英語」
小論文 1題
面接 グループ面接

◇配点

報告書(135) 各教科5点×9教科×3学年分、活動実績報告書(35)
共通学力検査(150)、小論文(35)、面接(20)
※活動実績報告書

中学校における、自分の興味や関心を生かして、校内・校外(大学や高校などで実施される発展講座など)の取組に参加し、主体的に学ぼうとした意欲や学んだ活動を記載すること。

■中期選抜(募集定員 56名)

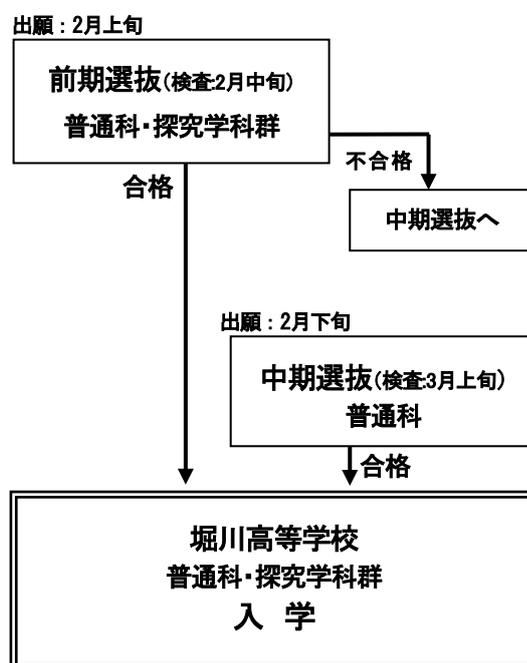
◇検査内容

学力検査 共通学力検査「国語」「社会」「数学」「理科」「英語」

◇配点

報告書(195)、共通学力検査(200)

※中期選抜は、京都市・乙訓地域の共通方式で実施します。概要は教育委員会発行の、平成29年度京都府公立学校入学者選抜概要をご覧ください。



(2) 探究学科群 選抜概要

■前期選抜（募集定員160名）

探究活動を進めるための「幅広い言語能力」とその「活用能力」を確認します。また、自分の考えをまとめて論理的に表現する力を確認します。

「幅広い言語能力」とは日本語および英語の理解力と表現力、数学的な思考力、「活用能力」とは多面的・多角的に考える・判断する力、科学的に見る・考える力を指します。

◇検査内容

- 学力検査 独自学力検査「英語」「国語」「数学」「人文・社会科学」「自然科学」
※「英語」の検査にはリスニング問題を含みます。
- 小論文 1題
※探究学科群の小論文は、普通科の小論文と同じ内容です。

◇配点

報告書（100）、独自学力検査（400）、小論文（25）

報告書：各教科5点×9教科×3学年分=135点を100点に換算

独自学力検査：「英語」「国語」「数学」各100点、「人文・社会科学」「自然科学」各50点

2. 独自問題による検査の内容

(1) 小論文〈普通科〉・小論文〈探究学科群〉 検査時間:40分

提示された課題文から情報を読みとり、論の展開・構成や主張を適切に把握するとともに、論理的に表現する力を確認します。

(2) 面接〈普通科〉 検査時間:約30分

グループ(6~8人)討論形式で行います。提示された課題について各自が案を出し合い、協力し合って考えを一つにまとめることで、コミュニケーション能力や表現力、協同する力を確認します。

(3) 独自学力検査〈探究学科群〉

検査1~5共通：中学校の学習範囲で解答できることを基本に、学習事項および発達段階から考えて応用的に解答できると想定されることも出題します。検査の順序、検査時間および内容は以下の通りです。

検査1〈英語〉 検査時間:50分

英文の正確な意味や全体の流れを理解する力と受けとった情報をもとに適切に表現する力を確認します。

検査2〈国語〉 検査時間:50分

言葉を通じて正確に読みとる読解力と筋道の通った言葉で表現する記述力を確認します。

検査3〈数学〉 検査時間:50分

筋道を立てて考える力とその一連の過程を確実に処理する力を確認します。

検査4〈人文・社会科学〉 検査時間:40分

日本や世界の出来事を題材に、資料を通して多角的に考える力を確認します。

検査5〈自然科学〉 検査時間:40分

知識や経験を生かした柔軟な発想をもとに、科学的に考える力を確認します。

3. 今後の学習について

最初やるべきは、弱点となる科目がないように、中学校での学習内容全般をしっかりと確認することです。教科書の内容を理解した上で、さらに発展的な内容についても時間をかけて学習し、学力検査に臨んでください。

毎日学習することを習慣とし、大切にしてください。受検のために勉強するというのではなく、学習方法を含めて「自分の勉強法をつくりあげる」という気持ちで取り組んでください。自分なりに工夫し、試行錯誤を重ねて身につけた「習慣」や「勉強法」は、今後必ずあなたを支えます。

堀川高校生から中学生のみんなへ

このメッセージは2年生が4月に
中学校の先生に宛てて書いたものです。

1 1年生での印象的な体験、出来事は？

- ・生徒が真面目でガチガチな学校だと思われがちですが、本当は全然そうではないことを実感しました。勉強だけでなく文化祭やイベントへも全力で取り組む姿勢はまさに青春そのもの... 大切なのはONとOFFの切り替えだと感じました。
- ・先生が本当に個性的で、生徒もみんなとても面白いし、すごく楽しい集団生活だと感じます。授業や行事では自己解決能力が問われるので自立に向けて頑張っています。
- ・委員会、ゼミ、部活など、毎日の生活の中でとても多くの役割を持つということです。しなくてはならないものが重なってしまった時、どちらを優先するべきか選択する力は社会に出ても必要になるはず！
- ・学校説明会で中学生の前で話したことです。元々前に出るのがとても苦手でしたが、舞台上で話せるようになって成長を感じました。他にも、海外研修や文化祭も楽しかったです。
- ・説明会運営スタッフでの活動です。中学校の時あこがれていた先輩の立場になって、自分たちだけで運営することがとても楽しく、また1年前の自分と比べて格段に主体的に行動するようになりました。
- ・探究基礎という授業の中で、少人数で研究を進める「ゼミ」があって、自分の興味のあることを探究することができました。ただの調べ学習ではなく、論文の書き方や文献の引用の仕方、資料の読み方なども学ぶことで、一気に視野が広がります。これらは普通、大学でやることなので、高校で学んでおくと大学で役立つと思います。
- ・9月にある文化祭が、私にとって何よりも大切な経験になりました。文化祭に向けて頑張るうちに友達も増え、信頼し信頼されることを学びました。文化祭で中心となって活躍できたことで、自分の殻を破ることができた気がします。

2 海外研修を終えて

- ・自分の拙い英語でも、自分が伝えよう、相手が聞こうとする気持ちを持つと通じ合えたことから、会話のあり方について考えました。日本人同士であってもその気持ちを持って接することは大切だと思いました。
- ・1年かけて私たちは海外研修に取り組みました。実際に海外に行っている時間はたったの1週間です。その1週間でどれだけ濃い時間にできるかは、それまでにかけた時間と労力に比例します。行く前と後、全部ひっくりめ

て自分の糧になるのが海外研修でした。

- ・「世界は広い。」こう思いました。今までの16年間過ごしてきた日本はいかに小さいのか。世界に出てみて初めて気づくことのできた日本の問題（積極性など）。自分の見聞を広め、また教養を身につけられました。
- ・海外に行くと外を見たと同時に、内（日本）を見ることができたなと思います。ただ海外のものを見て「すごい」とか「ここは良くない」とか思うのではなく、「日本ではこうだけど、海外では日本のこれはどう思われているのだろう」等、いろんな視点から物事を見ることができて良かったです。グローバルである事は自分たちの文化を発信する以上に相手の文化を知ろうとすることだと感じました。
- ・日本とは全く環境が違う世界を知り、身をもって体験する良い機会でした。知らない＝面白いと考え、いろいろなことにチャレンジするための下地が作れました。
- ・私はアメリカのオーランドコースで、念願のNASAを見学してきました。本当に楽しかった！自分の将来の夢を具体的に考えることができました。その分、自分の英語でのコミュニケーション能力や知識のなさを実感し、悔しかったです。
- ・マレーシアコースのコース長として、半年以上かけて準備をして、レジュメを作ってコース会議を運営したり、アセンブリ（集会）で挨拶をしたりした経験を通して成長できました。
- ・海外研修が終わってからやっと、自分は堀川から、親から、仲間から貴重な経験の機会を与えられたことを自覚しました。海外に行くことでわかる日本の課題や、視点や着眼点の違いなどたくさんを学びました。

3 2年生の抱負は？

- ・1年よりももっと「勉強したい」と今は言えます。中学校の時高校に行くために勉強していると思っていましたが、高校に入ってから将来のことを考えながら勉強できるようになりました。そうすると勉強が楽しくなります。
- ・自身の幅を広げることができる1年にしたい。去年は仕事（勉強、委員会、部活、Gプロジェクト、探究活動）をやっていることに満足して、しっかりとした中身が伴っていなかったため、全てに全力を尽くし、やる気と努力を惜しまない。
- ・たくさん本を読んで、できるだけ多くのいろいろな知識を得たいです。中学生まで本を全然読まなかったのですが、最近読書が好きになってきて、一カ月に何冊も読めるようになりました。おかげで本屋にはよく行くようになりました。
- ・勉強はもちろん、それ以上に「人との繋がり」をちゃんと身をもって体感できるような1年にしたいです。今まで出逢った友達、仲間、先生、これから出逢う人々と、かけがえのない「高校2年生」の思い出を作りたいです。